

令和6年第9回定例教育委員会会議録

1. 開催日時 令和6年9月12日(木)
午後2時25分～午後3時40分
2. 開催場所 柏原市教育委員会 会議室
3. 出席した委員 教 育 長 新 子 寿 一
教育長職務代理 田 中 保 和
委 員 近 藤 温 子
委 員 西 村 弥 生 子
委 員 太 田 貴 之
4. 出席した職員 教 育 部 長 桐 藤 英 樹
教 育 監 安 田 典 子
教育総務課長 稲 山 佳 史
スポーツ推進課長 清 水 康 弘
指 導 課 長 小 室 吉 昭
事務局教育総務課 塩 谷 行 由
5. 議事案件
議案第21号 柏原市教育委員会事務局職員人事の承認について
議案第22号 令和6年度全国学力・学習状況調査の結果の公表内容について
6. 報告事項
7. 会議録の承認及び会議の要旨
新子教育長：それでは、令和6年第9回定例教育委員会会議を開会します。本日の会議録署名委員は、田中委員にお願いいたします。次に、事前に送付させていただいております会議録につきまして、ご意見等ございませんか。
委員全員：なし。
新子教育長：それでは、会議録は承認することにいたします。本日の議事に入っております。本日の議事案件は2件です。では、議案第21号につきまして審議いたします。議案第21号について、教育総務課稲山次長より説明をお願いします。
稲山次長：議案第21号柏原市教育委員会事務局職員人事の承認について、教育総務課より説明させていただきます。本日配布しております資料に人事異動内容を記載しており

ます。ご承認いただきますようお願いいたします。

新子教育長：ご質問、ご意見等ございましたらお願いいたします。

委員全員：なし。

新子教育長：ないようでございますので、議案第21号について、原案どおり承認してよろしいでしょうか。

委員全員：異議なし。

新子教育長：それでは議案第21号柏原市教育委員会事務局職員人事の承認については、原案どおり承認することにいたします。次に、議案第22号について、指導課小室課長より説明をお願いします。

小室課長：議案第22号令和6年度全国学力・学習状況調査の結果の公表内容について、指導課よりご説明申し上げます。まず資料についてですが、今回より、A4横の結果概要と、これまでのように詳細を記した冊子を結果に関する参考資料として作成しました。市民に向けて公開することを前提に考えた場合、よりシンプルでわかりやすいものをとの意図で作成しております。なお、結果に関する参考資料は概要版の下に記したQRコードやリンクから見られるようにいたします。

それでは、まず概要版を使って説明いたします。調査目的及び調査対象学年はこれまでと変わりはありません。各教科の平均正答率といたしましては、小学校は全国、大阪府と比較し、国語は下回り、算数は上回りました。中学校では、国語は全国及び大阪府を上回り、数学は全国及び大阪府を下回りました。全国の平均正答率を1として表した値で2教科合わせた総合で全国と比べて推移を見てみますと、小学校のグラフは令和3年度から昨年度まで下降しておりましたが、今年度上昇しました。中学校では、変動が大きく、昨年度は全国を大きく下回っていましたが、今年度上昇し、全国値に近づきました。

右に参りまして、児童・生徒質問調査については、①基本的な生活習慣については、規則正しい生活習慣が概ね身についており、規範意識や自己有用感等についても肯定的である一方で、学校外でICT機器を使って学習することが少なく、ゲーム・SNSや動画視聴をする時間が長いという結果になっております。

②学習習慣・学習環境については、学習でのICT機器の活用に効力感を感じている一方で、授業でICT機器を活用する機会が少なく、平日・休日ともに、授業外で勉強をしている時間が短い、新聞をほとんど読まないという結果になりました。

③授業改善等については、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善が進んでいる、学級で互いを認め合い、協働的に活動できているという結果となりました。

では、詳細については、結果に関する参考資料を用いて説明いたします。参考資料1ページをご覧ください。一番下、同一集団・生徒集団による経年比較で見ると、現中3の小6当時と比較すると、数値で見るとわずかですが、下がっています。

参考資料2ページをご覧ください。小学校の問題別調査結果になります。今回課題となる国語では、昨年度と同様に書くことの領域に課題が見られます。参考資料4ページの課題の見られる問題については、赤色の付箋箇所になります。国語の課題としては、

メールやメモ、文章などの複数の情報を整理すること、目的や意図に応じて内容を検討したり、自分の考えが伝わるように工夫したりすることに課題があることがわかりました。学力向上対策委員会では、委員より、いかに授業の中で、課題を意識した工夫ができるかが重要だとの意見を頂きました。正答率が高かった問題については、今回は説明いたしません、緑色の付箋箇所になります。

参考資料5ページをご覧ください。中学校の問題別調査結果になります。下段、課題となる数学では、昨年度同様にデータの活用の領域に課題が見られます。また、思考・判断・表現の観点にも課題が見られました。また、正答数分布においては、13問以上の上位層の割合が少ない傾向が見られました。

参考資料7ページには、課題が見られた問題になります。問題用紙、赤の付箋の部分です。数学では、思考・判断・表現、また、難易度の高い記述式の問題において、正答率や無解答率に課題が見られました。

参考資料8ページからは、児童・生徒質問紙調査の結果の概要になります。概要版でお伝えした内容となります。

参考資料9ページからは回答状況一覧になります。左が、質問内容になります。右端は、全国との比較、肯定的回答の割合、前回の結果との比較になります。表の見方ですが、全国との比較では、+10ポイントが◎、+5ポイントが○、-5ポイントが▽、-10ポイントが▼になりますので、質問番号4は小中ともに5ポイント下回っているという結果になります。また、肯定的回答については、90%以上を◎、80%以上を○、50%未満を▽、20%未満を▼になりますので、質問1は小中ともに90%以上の肯定的回答という結果になります。そして、最後に前回調査との比較では、+5ポイントを青色で示し、-5ポイントを赤色で示しております。今回は、青色が多いので、全体的にはよくなっているということになります。

緑色に着色された質問については、国立教育政策研究所から質問紙の肯定的回答と平均正答率に強い相関関係が見られると指摘されている質問項目になります。参考資料10ページも引き続きになります。

参考資料11ページは、特徴的な項目として、教科の平均正答率との相関関係が指摘されている項目について、つまり先ほど緑で塗りつぶした部分で、課題が見られた問題について取り上げております。中学校では、平日にゲーム等をする時間が長く、4割弱が3時間以上で、平日（授業外）に勉強する時間が短い、約5割が1時間未満、特に小学校は全くしない割合も大きくなっています。また、休日に勉強する時間が短く、5～6割が1時間未満、全くしない割合も2～3割しないという結果です。

一番下、ICTを活用した学習状況について、授業でICT活用頻度が少なく、約7割が週3回未満、ほぼ毎日活用している割合は1割未満という結果となりました。

教育委員会としましては、結果からわかることを、学力向上推進委員会等を通して学校に周知し、学力向上の取組みを進めてまいります。報告は以上でございます。ご審議よろしく申し上げます。

新子教育長：ご質問、ご意見等ございましたらお願いいたします。

近藤委員：8、9ページのところですが、去年の小学生のはぐくみテストでは高学年の規範意識が少し低い結果で気になっていました。今回は質問内容が違うとは思いますが、悪くない結果でしたので安心しています。質問17の自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますかというのが、小学校は赤になっていて、前回と比較しても、全国と比較しても低い結果になっています。質問の捉え方も難しいのかなと思いますが、色々な人と関わることに消極的になっているのかなという印象を持ちました。学校行事もコロナ前のように盛んになってきていますし、考え方の視野が広がっていくことをこれから期待したいなと思います。

新子教育長：ありがとうございます。他にご質問、ご意見等ございましたらお願いいたします。

太田委員：結果概要の案ですが、家庭等で勉強する時間が短いようだと書かれていますが、短いのであればはっきりと短いと書いた方がよいのではないかと思います。スマートフォン等の端末の適切な利用を家庭にお願いしていますが、ゲームをしたりスマートフォンを触っている時間が全国と比べても柏原市は高いということははっきりと言ってよいのかと。そこが課題だというのはずっと以前からありますよね。勉強時間が短くて、SNSをしている時間が長いというのは課題ですので、この資料を見た人に分かりやすいようにはっきりと伝えてもよいのかなと思います。

また、学校に対する肯定的な意見が高いので、それはすごく良いことだなと感じました。あと、子どもたちから見て柏原市の教員はICTの利用が少ないということですが、何か理由はありますか。

小室課長：実際に授業を見に行った時は使っているなという印象を受けるのですが、子どもたちにとっては、ICT機器を自由に使っているという意識がないのかもしれませんが。

太田委員：結果からもICT機器の利用と学力には相関関係はないということですが、では、問題はどこにあるのでしょうか。

小室課長：授業改善を行う→ICT機器の利用率が上がる→子どもたちの学力が上がるといった流れになると思いますので、やはり重要なのは授業改善ではないかと考えます。

太田委員：ICT機器と関連しないところで授業改善を進めているのかな。それは分かりませんが、教員がICT機器を使うことにメリットを感じていないのからあまり使っていないのかなと感じますが、いかがでしょうか。

小室課長：ICT機器を使う先生はすごく活用しているので、やはり教員間で差が出ているのかもしれませんが。

太田委員：宿題はどうですか。ICTを活用したものはあるのでしょうか。

小室課長：調査はしておりませんが、学校間で差があると思います。

太田委員：他市の進んでいる例等を参考にしてもらって、毎日宿題でICTを活用して効果が出ているところがあるなら、それは取り入れてもらいたいと思います。

新子教育長：ありがとうございます。他にご質問、ご意見等ございましたらお願いいたします。

西村委員：9ページのICTを利用した学習状況のところ、一番のメリットとして、自

分のペースでできるというところと、自分の意見や考えを分かりやすく伝えることができるというところで、子どもたちの肯定的な回答を得られていません。この部分が学習に直結するところになるのではないかと思います。結果概要の中で、家庭へのメッセージの中で、家庭学習に関するところがありますが、ICT機器を使えるようにだとか、具体的なことを盛り込んだ方が、ICTを家庭でも使っていこうとしているんだなというところに繋がっていくのではないかと考えます。学校でやった内容を復習する上でICTを利用した方が、抵抗感が少ない子が多いとよく聞きますので、5分でも10分でもやらないよりやる方がよいと思います。そのためにも具体的な内容を盛り込むとよいのではないかと思います。

新子教育長：ありがとうございます。他にご質問、ご意見等ございましたらお願いいたします。

田中委員：ICT機器の持ち帰り状況は学校ごとによって違うと思いますが、問題はあったりしましたか。

小室課長：一部の意見として、紙媒体で持ち帰らせてくれといった意見はありました。それについては個別最適な学習方法をということ、紙媒体で対応しました。

新子教育長：他にご質問、ご意見等ございましたらお願いいたします。

委員全員：なし。

新子教育長：ないようでございますので、議案第22号について、原案どおり承認してよろしいでしょうか。

委員全員：異議なし。

新子教育長：それでは議案第22号令和6年度全国学力・学習状況調査の結果の公表内容については、原案どおり承認することにいたします。本日の議事案件は以上です。

(スポーツ推進課より(仮称)スポーツパークかしわらについて、教育総務課よりプール整備方針について報告)

以上で第9回定例教育委員会会議を閉会いたします。

本教育委員会会議の議事の経過に相違ないことを証するためにここに署名する。

令和 年 月 日

柏原市教育委員